

風の子保育園

園の前にあるコスモス畑と子どもたちがよく出かける高穴穂神社をフィールドにしました。背の高いコスモスの畑、たくさんの葉っぱや虫がいて小川もある杉林の神社でさまざまな自然とふれあい、葉っぱや木の働きについても考えられるよう工夫しました。

「コスモスの宝物」のプログラム

子どもたちより背の高いコスモスの畑はまるで迷路のよう。このコスモス畑に、あらかじめ宝物（虫を描いたカード）を隠しておき、絵合わせ遊びの要領で子どもたちがカードを探しに行きます。畑いっぱい動き回り、顔に当たるコスモスの葉っぱや土のにおいなどを体感するプログラムができました。

カード
あった？



宝物（絵カード）を探す子どもたち

「アリ」に
なったね。



2人が見つけた絵カードを合わせると「アリ」に。この2人組みがペアになって神社へ移動。

まだ見つ
からへん

「いろんな葉っぱ みつけられるかな!？」のプログラム

神社にあるさまざまな葉っぱの中から、「見て」「ふれて」「においで」同じ葉っぱを探す遊びを通して葉っぱの多様性に気づき、枯葉にも着目することで葉っぱの大切な役割を知るプログラムができました。

指導者が示す葉っぱと同じ葉っぱを見つけよう



こっちは細長く
てギザギザや

これは
小さくて
丸いなあ

ヒミツの袋パート2（枯葉）
においだけをたよりに袋の中
の葉っぱと同じものを探そう



トゲトゲがある!

ヒミツの袋パート1（スギ）
触った感覚だけをたよりに袋の中
の葉っぱと同じものを探そう



ちょっとすっ
ぱいにおいが
するなあ



これかな?

「ひみつ基地づくり」のプログラム

基地をつくる遊びを通して、神社にある木や葉っぱなどの自然物に親しみを持ち、木の枝や幹の働きをわかりやすく解説することで、木が活着ていることを理解するプログラムができました。

ヒミツ基地づくり
(つくった基地をみんなに紹介する)



参加された先生方の声

自然を活かした保育をするのに、教材となるものがどこにでもあることに気付かされた。

神社に行くまでの道中も様々な気づきや発見があり、それらを子どもたちに気付かせる言葉かけが保育者として大切だと思った。

自然の中では子どもたちが生き生きしていて、自然の偉大さを感じた。

この指導者学習会のように3回に分けて一連の内容を身につける研修の機会は他になく、貴重な体験ができた。また、目的を持って自然体験学習をするという視点ができる。

自分自身が部屋の中では緊張していたが、自然の中ではその緊張がほぐれるような気がして、いろんな遊びが浮かんできた。